



令和元年 9月 13日
第十管区海上保安本部

海図「油津港及外浦港，内海港付近」を リニューアルします

最新の測量機器（マルチビーム音響測深機）による測量成果などを採り入れた海図 W181「油津港及外浦港，内海港付近」を、9月 13 日にリニューアルします。

海上保安庁は、船舶の安全な航海に必要な水深、灯台等の航路標識、港湾施設等の情報を記載した海図を作製し、発行しています。

海図 W181「油津港及外浦港，内海港付近」について、測量船「いそしお」に搭載した最新の測量機器により、油津港付近の目井津漁港、外浦港及び小戸ノ瀬等の大規模な測量を実施し、古い水深情報を更新しました。また、港湾工事により変化した海岸線等の情報を採り込むとともに、「内海港付近」の海図区域を拡大し船舶が小戸ノ瀬等の浅瀬を安全に回避できるように改訂しました。

なお、今回の海図発行により、これまでの海図 W181（平成 18 年 3 月刊行）は、航海に使用できなくなります。

発行する海図の概要

海図番号	図名	縮尺	サイズ	価格(税込み)
W181	油津港及外浦港	1/18,000	全紙 1,085mm×765mm	3,456 円
	内海港付近	1/20,000		

※10月1日からは、消費税 10%を含む価格 3,520 円に改定されます。

○海図の入手方法等

入手方法は、第十管区海上保安本部海洋情報部ホームページをご覧くださいか、第十管区海上保安本部の「海の相談室」にお問い合わせください。

■ホームページアドレス

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/kan10/index.html>

- 海の相談室（休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで）
電話番号 099-250-9800 内線（2511）

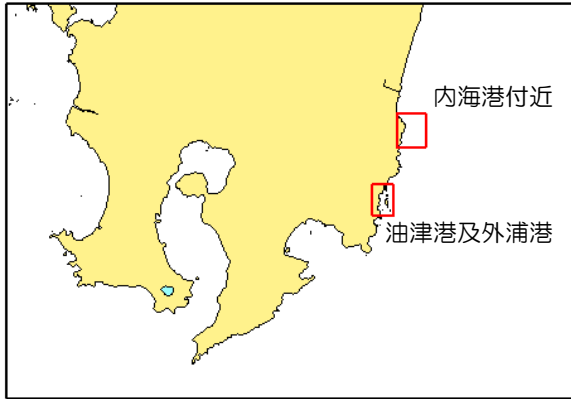
○参考情報

油津港：東京・大阪・神戸を結ぶ貨物船定期航路があり、近年ではクルーズ船受入拠点としてアジアとの海の玄関口となっています。

外浦港：漁業の基地や荒天時の船舶の避難港として利用されています。


内海港：古くから宮崎市の海の門戸であり、現在は石油製品等の取扱いや漁業の基地として利用されています。

○発行する海図の包含区域



○測量船「いそしお」



○発行する海図と測量成果を反映した区域（赤枠  ）

